令和４年度進行管理・評価シート
香取市歴史的風致維持向上計画（平成３１年３月２６日認定）

（最終変更　令和４年３月１１日）

□進捗評価シート（様式１）

①組織体制（様式１－１）
1 計画の実施体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式１－２）
1 香取市の都市計画との連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2 屋外広告物条例との連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式１－３）
1 三菱銀行佐原支店旧本館保存修理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2 香取市佐原伝統的建造物群保存地区保存整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3 歴史的風致形成建造物等調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4 歴史的建造物活用促進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5 電線地中化事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
6 公園整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
7 複合公共施設整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
8 山車保存整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
9 山車実測調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
10 山車蔵調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
11 指定無形民俗文化財保存育成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
12 小見川の町並み調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
13 写真・映像資料調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
14 香取市里神楽事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
15 国宝修理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
16 文化財看板設置・修理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
17 佐原・香取学習パンフレット・ガイドマップ配布事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
18 香取市文化財地図作成・発信事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
19 いぶき市民カレッジ事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
20 日本遺産活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式１－４）
1 文化財調査、指定、文化財保存活用地域計画の作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
2 文化財の保存・活用（史跡等の管理） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
3 文化財情報の発信と防災の啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

⑤効果・影響等に関する報道（様式１－５）
1 効果・影響等に関する報道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

⑥その他（効果等）（様式１－６）
1 歴史的風致の周知と認識向上 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

□法定協議会等におけるコメントシート（様式２） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

進捗評価シート　　（様式1-1）

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
計画の実施体制	□実施済 ■実施中 □未着手

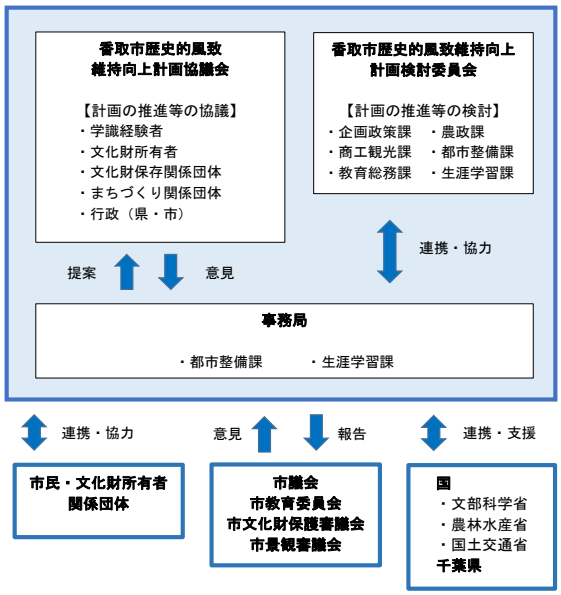
計画に記載している内容	本計画の実施、推進体制については、建設水道部都市整備課、教育委員会生涯学習課を事務局として、関係部局と連絡調整を図りながら事業の進行管理を行う。必要に応じて関係部局による「庁内検討委員会」を開催し、歴史まちづくり法第11条の規定により設置した計画協議会を開催して事業の推進を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

教育委員会生涯学習課文化財班が中心となって、都市整備課住宅・街なみ班をはじめとする関係部局と連絡調整を図り、各事業の推進について検討した。
香取市歴史的風致維持向上計画協議会の開催（令和4年5月16日）
香取市文化財保護審議会への報告（1回、令和4年7月26日）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	各事業の細部のすり合わせについて、今後も関係部局との協議と連携を密に行い調整する。

状況を示す写真や資料等



香取市歴史的風致維持向上計画推進体制

	名　前	所　属　等	区　分	
1	石毛（いしげ）　麻理（まり）	佐原おかみさん会・事務局	外部委員	関係団体
2	石田（いしだ）　泰紀（やすのり）	佐原山車行事伝承保存会・理事	外部委員	関係団体、前副会長
3	岩瀬（いわせ）　繁（しげる）	香取市文化財保護審議会・委員	外部委員	識見を有する者・建築
4	木村（きむら）　修（おさむ）	香取市文化財保護審議会・会長	外部委員	識見を有する者・歴史、前会長
5	酒井（さかい）　右二（ゆうじ）	香取市景観審議会・委員	外部委員	識見を有する者・都市史・歴史
6	佐藤（さとう）　健太良（けんたろう）	NPO法人　小野川と佐原の町並みを考える会・理事長	外部委員	関係団体
7	鈴木（すずき）　哲雄（てつお）	都留文科大学教養学部・特任教授	外部委員	識見を有する者・歴史
8	平山（ひらやま）　重孝（しげたか）	香取神宮・権宮司	外部委員	重要文化財建造物等の所有者
9	菰田（こもだ）　成彦（なるひこ）	千葉県県土整備部公園緑地課・課長	行政関係	行政機関・県
10	金井（かない）　一喜（かずき）	千葉県教育庁教育振興部文化財課・課長	行政関係	行政機関・県
11	宮崎（みやざき）　秀行（ひでゆき）	経営企画部長	行政関係	行政機関・市
12	平野（ひらの）　靖（やすし）	生活経済部長	行政関係	行政機関・市
13	吉田（よしだ）　博之（ひろゆき）	建設水道部長	行政関係	行政機関・市
14	宇井（うい）　正志（ただし）	教育委員会次長	行政関係	行政機関・市

香取市歴史的風致維持向上計画協議会委員
（令和４年度）

●令和4年度第1回歴史的風致維持向上計画協議会
日程：令和4年5月16日
内容：令和3年度進行管理・評価シート（案）について
　　歴まち施行細則の制定及び歴史的風致形成建造物の指定

進捗評価シート　　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
香取市の都市計画との連携	□実施済 ■実施中 □未着手

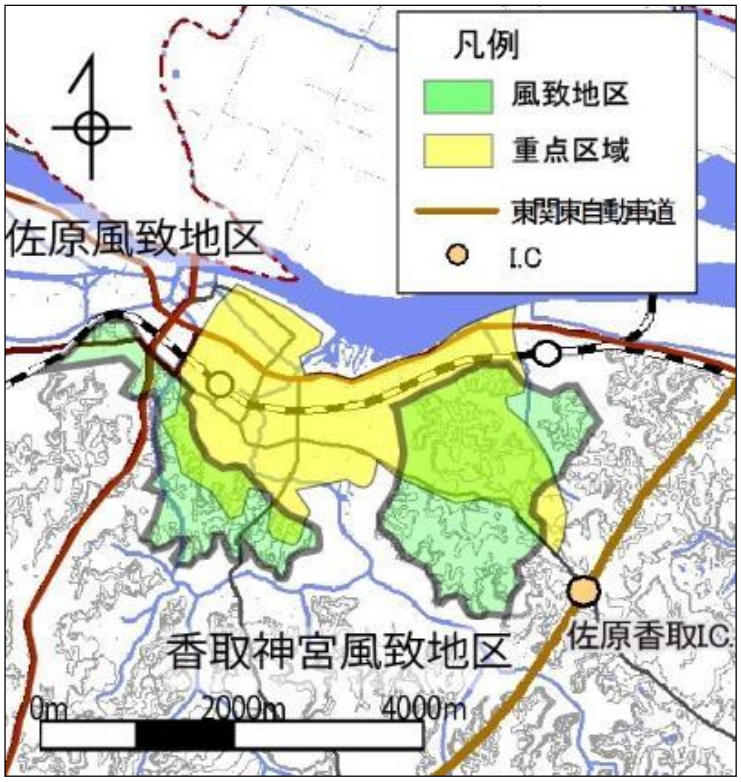
計画に記載している内容	香取市の都市計画との連携では、三つの計画が挙げられる。都市計画法との連携という点では、市内全域は都市計画区域となっており、用途地域が佐原地区と小見川地区の中心部などに指定されている。香取市都市計画マスタープランでは、歴史的資源の保全と活用の方針に基づき、歴史的資源の維持・活用を目指すことが示されている。風致地区条例では佐原風致地区と香取神宮風致地区の二カ所が風致地区に指定されている。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

香取市では、「佐原風致地区（244ha）」、「香取神宮風致地区（357ha）」の二カ所が風致地区に指定されている。風致地区内で開発行為等をしようとする場合には、香取市風致地区条例に基づき、あらかじめ市長の許可が必要となる。
●令和4年度　風致地区内行為許可件数　18件

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	・建築物の建築　・工作物の設置・建築物、工作物の色彩の変更・宅地の造成又は土地の開墾、その他土地の形質の変更・水面の埋立て又は干拓　・木竹の伐採　・土石類の採取　・屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積といった行為を許可制とし、良好な風致形成を推進する。

状況を示す写真や資料等



香取市内の風致地区位置図

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

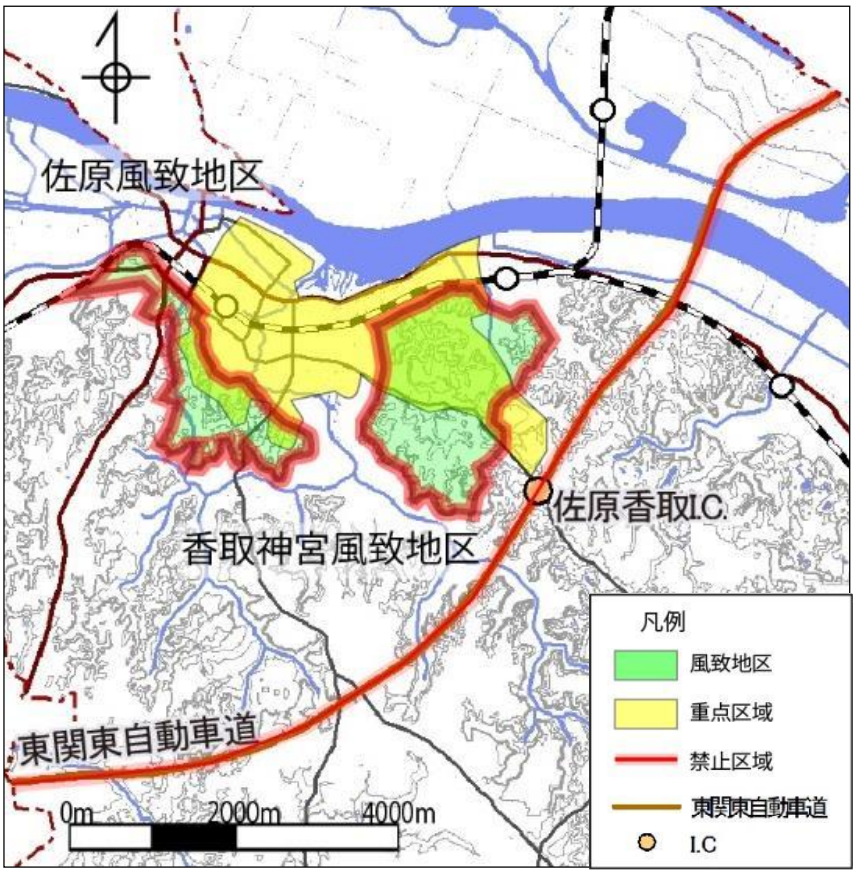
評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
屋外広告物条例との連携	□実施済 ■実施中 □未着手
計画に記載している内容	香取市における屋外広告物の表示および掲出については、屋外広告物法に基づく千葉県屋外広告物条例（昭和44年県条例第5号）により規制が行われている。大きくは、屋外広告物設置を禁止する「禁止区域」と、許可申請が必要な「許可区域」の二つがある。禁止区域には文化財保護法、千葉県文化財保護条例により指定された地域並びにその周囲の知事が指定した区域が含まれる。香取市内においては風致地区と東関東自動車道周辺が該当する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

許可区域の要件に都市計画区域があるため、市内全域が都市計画区域となっている香取市においては禁止区域以外が許可区域である。
●令和4年度　屋外広告物許可件数　34件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	屋外広告物法に基づく千葉県屋外広告物条例（昭和44年県条例第5号）により規制が行われている。

状況を示す写真や資料等



香取市内の千葉県屋外広告物条例「禁止区域」位置図

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
①三菱銀行佐原支店旧本館保存修理事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和元年度～令和4年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、県文化財保存整備事業補助金、市単独事業
計画に記載している内容	県指定文化財・三菱銀行佐原支店旧本館の耐震性向上と復元整備を行う。重要文化財指定を目指すとともに、舟運で栄えた歴史を伝える建造物として活用していく。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

【保存修理事業の経過】
平成27年度　耐震診断業務
平成28年度　基本設計業務
平成29年度・30年度　実施設計業務

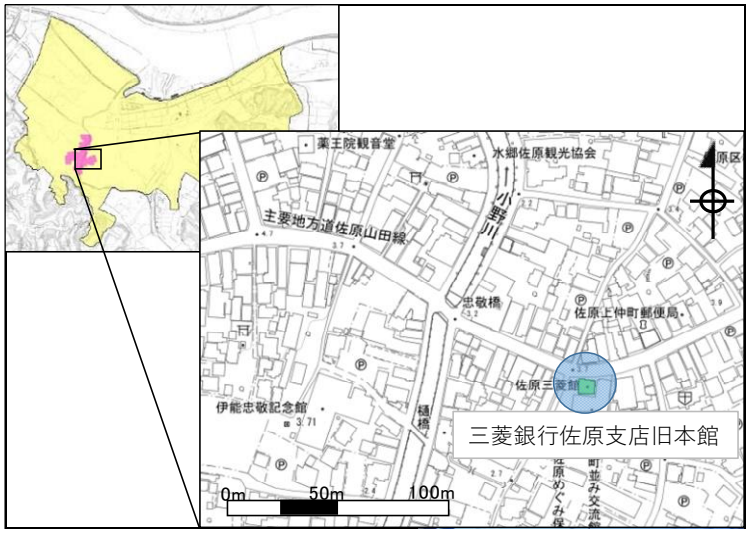
【保存修理事業の実施】令和元年度～4年度
・耐震補強工事（PC鋼棒によるプレストレス補強等）
・復原工事（カウンター、暖炉、螺旋階段、開口部、屋根等の復原）
・設備工事　　・報告書刊行

報告書作成にあたり、文化庁調査官による現地指導・助言を受けた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	実施設計に基づき、令和元年度から3年度にかけて進めていた保存修理工事が完了し、令和4年4月9日より一般公開された。事業の遂行にあたり、必要に応じて保存修理検討委員会（委員6名）を開催している。令和4年度は保存修理工事報告書の刊行を行った。

状況を示す写真や資料等

三菱銀行佐原支店旧本館（修理後）



建造物の位置

復元された暖炉・螺旋階段

復元された内装
（2階より）

R4.4.9　竣工記念式典

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
②香取市佐原伝統的建造物群保存地区保存整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

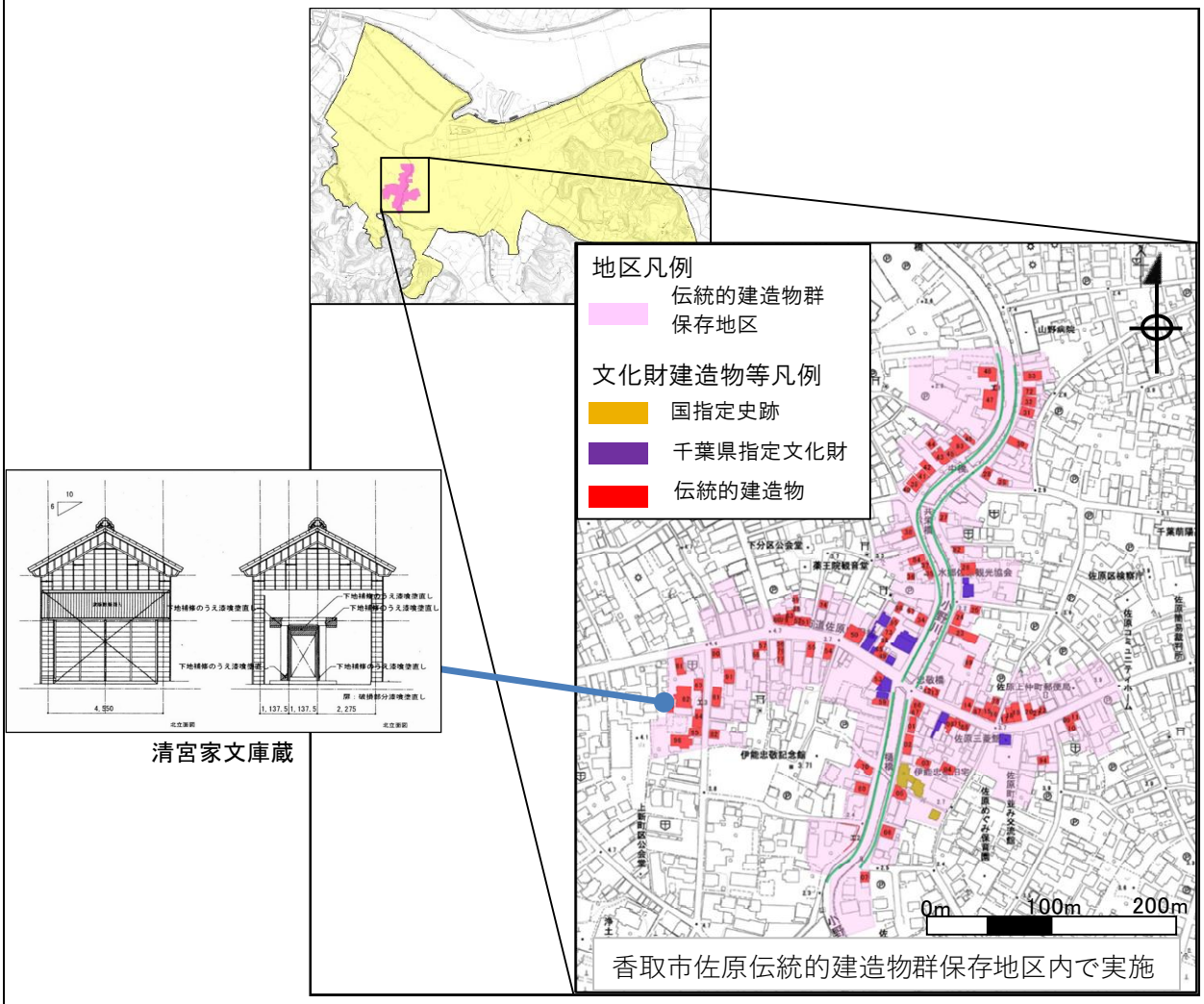
事業期間	平成8年度～令和10年度
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業補助金、県文化財保存整備事業補助金、市単独事業
計画に記載している内容	香取市佐原伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物の保存・整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成8年度重伝建地区選定以降、歴史的建造物の保存修理を順次行い、歴史的町並みの保全につとめてきた。
令和4年度は、伝建地区内の1件の特定物件(清宮家)について、昨年度より継続事業としていたものが完了した。
補助対象建造物:①清宮家文庫蔵

shuurikoujiwo	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	修理を行うにあたっては、建造物の所有者（事業者）および設計、施工業者等との綿密な協議、調整が必要。

状況を示す写真や資料等



清宮家文庫蔵

香取市佐原伝統的建造物群保存地区内で実施

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
③歴史的風致形成建造物群等調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手

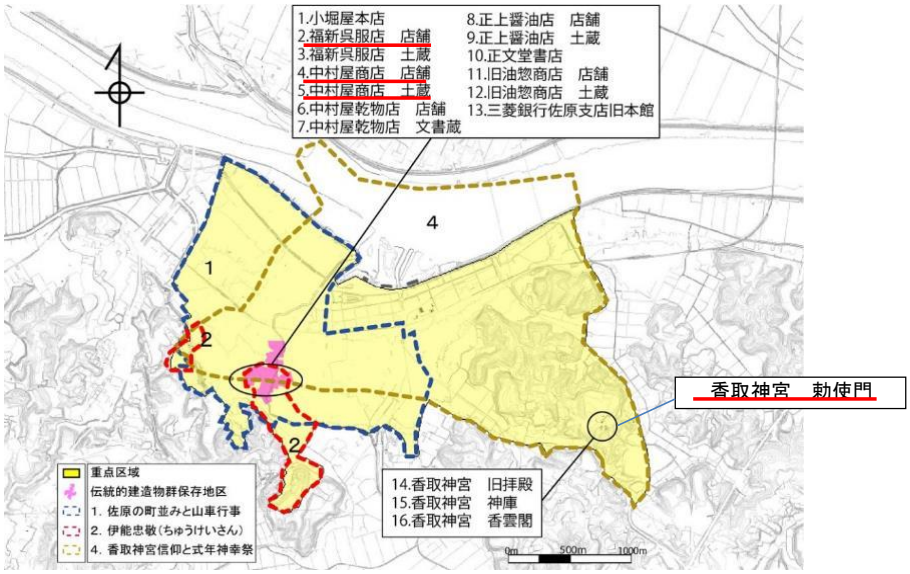
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重点区域内（香取市佐原伝統的建造物群保存地区内や観福寺、香取神宮周辺など）の歴史的建造物の調査を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

歴史的風致形成建造物候補16件は、県指定建造物、市指定建造物、国登録有形文化財で構成されており、その保存・整備、管理等も兼ねて随時調査等を実施している。候補物件以外でも周辺建造物等について随時調査を実施している。
令和4年度は中村屋商店店舗兼住宅・土蔵、福新呉服店店舗兼住宅、香取神宮勅使門で県文化財審議員の専門調査が行われた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	事務局による現状確認調査に加えて、専門調査員による継続的調査が必要となる。

状況を示す写真や資料等



歴史的風致形成建造物候補位置図

県文化財審議員　現地調査風景

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
④歴史的建造物活用促進事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	街なみ環境整備促進区域内（伝統的建造物保存地区と景観形成地区を合わせた範囲）の空き家及び店舗をNPO団体に委託して活用する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度委託事業：佐原の街なみにおける担い手育成支援事業
NPO団体を通じてオンライン会議等を交えて高校生グループを主体とした活動を行った。内容の概要としては、佐原まちづくりプロジェクトの運営、情報発信、イベントや活動の支援、活動内容に関する助言・指導等を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	活動が広がり、佐原高校だけでなく複数の高校から参加が得られるようになったため、活動の枠組みを再構築する必要がある。

状況を示す写真や資料等

R4.7.2 「ぬくとま（旧多田家）」拠点づくり・大清

さわらぼ　新規募集チラシ配布

さわらぼイベント募集チラシ（R4.7.16～

さわらぼイベント募集チラシ（R5.3.26）

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
⑤電線地中化事業	■実施済 □実施中 □未着手

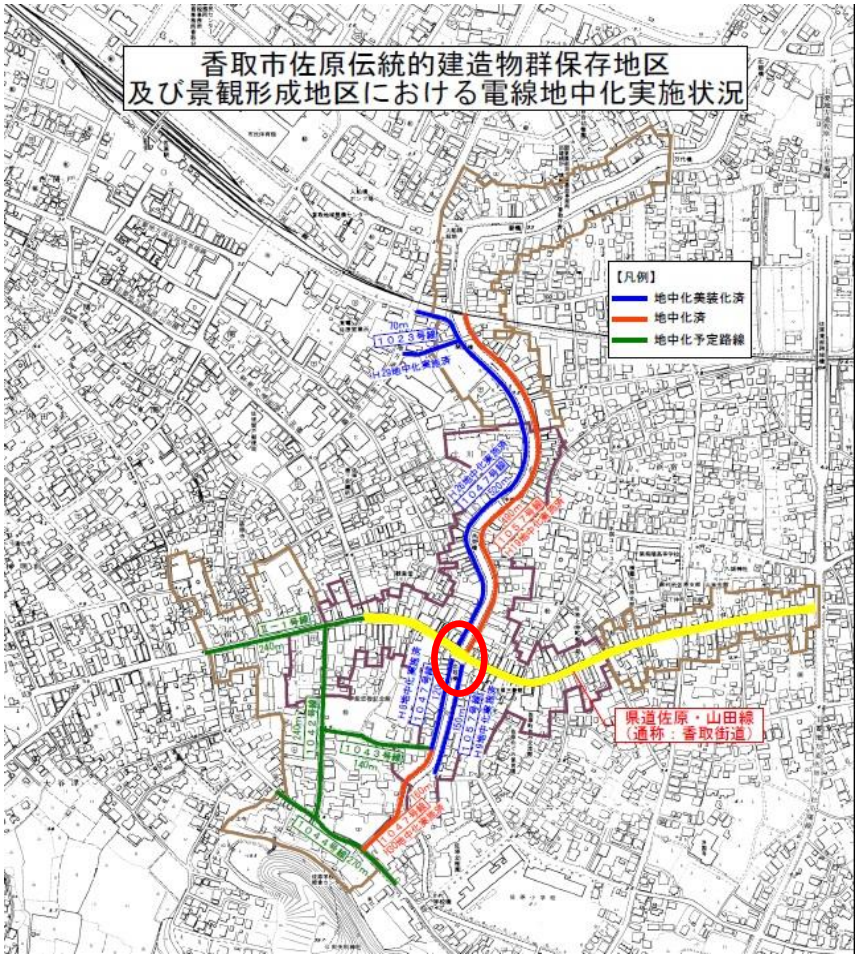
事業期間	平成27年度～令和元年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	街なみ環境整備促進区域内の電線の地中化を進める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

香取市佐原伝統的建造物群保存地区及びその周辺地区において電線地中化事業を継続して実施中。
平成30年度までに小野川沿いについては地中化を実施し、一部範囲では美装化も実施済み。
令和元年度以降は県道佐原・山田線が地中化の範囲となるため、県事業で実施中。令和4年度は電線地中化に関連して忠敬橋の拡幅工事が着手された。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
⑥公園整備事業	■実施済 □実施中 □未着手

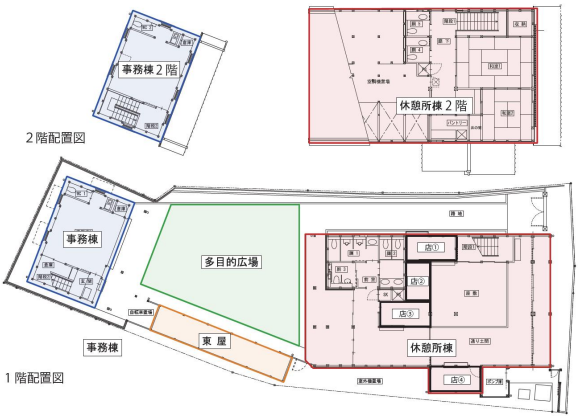
事業期間	平成27年度～令和元年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	街なみ環境整備促進区域内（図の桃色と緑色の範囲）において、地域住民や観光客が休憩できる公園の整備を進める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

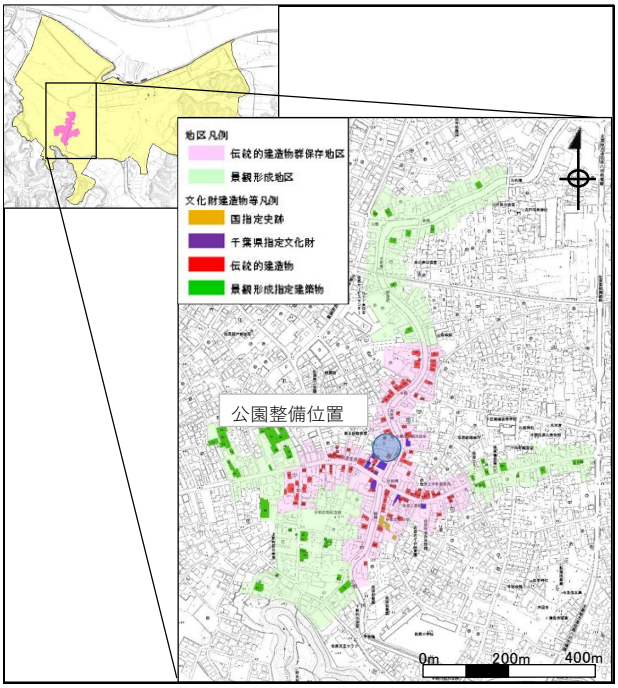
小野川沿いに「上川岸小公園」（さわら町屋館）として設置。伝統的建造物に倣った意匠で建築することで、町並みの連続性を保ち、町屋の内部を体験することで佐原の歴史的町並みに興味、関心を持つきっかけとなることを目的とした。
平成31年4月13日にオープン。指定管理者により管理、運営され、軽飲食の店舗、各種イベント等で活用している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



施設配置図



施設正面

多目的広場

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑦複合公共施設整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和4年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）、市単独事業
計画に記載している内容	観光交流センター機能などを有する複合公共施設を整備する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

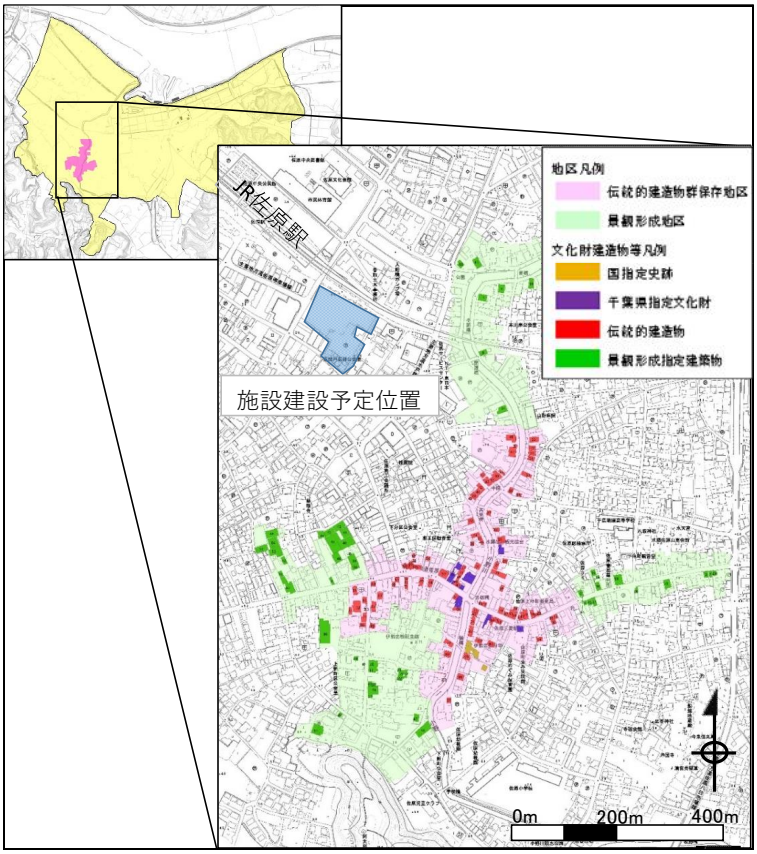
複数の機能を有した複合施設として整備し、各々の利点を生かしたサービスを提供することで、来訪者の利便性を図るとともに、駅から歴史的町並みへの流れを創出し、中心市街地の活性化を図ることを整備方針とする。
【事業の経過】
H29年度　市民ワークショップの実施、基本設計策定
R元年度　施設の規模と機能の見直し、発注公告
R3年度　施設建設工事
H30年度　市民事業仕分の実施、事業手法の検討
R2年度　実施設計業務
R4年度　施設建設工事　竣工

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和4年12月25日よりオープンし、図書館、公民館、観光交流センター機能などを有する複合公共施設として市民に供されている。

状況を示す写真や資料等

施設イメージ【実施設計時】

施設オープン後



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑧山車保存整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和10年度
支援事業名	民俗文化財伝承・活用等事業補助金、県無形民俗文化財等助成事業補助金、市単独事業
計画に記載している内容	佐原の山車行事用具類の保存・修理を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

重要無形民俗文化財「佐原の山車行事」を構成する25町内の山車について、山車本体、彫刻、飾り物など用具類の保存修理を行う。佐原山車行事伝承保存会が各町内からの要望をとりまとめ、平成29年度から順次保存修理に着手している。
令和4年度は、車輪の保存修理を9町内（田宿区・仁井宿区・八日市場区・浜宿区・下新町区・新上川岸区・下川岸区・西関戸区・北横宿区）、懸装品保存修理を本川岸区で実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	各町内からの修理要望が多数あるが、年度内での事業実施数に限りがあるため、現状では必ずしも要望通りに事業を実施できていない。

状況を示す写真や資料等

八日市場区　組上げ完了状況

新上川岸区　一部製材状況

下川岸区 コマ材のカット状況

本川岸区 保有懸装品保存修理

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑨山車実測調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐原の山車行事において曳き回される山車本体の実測調査と記録を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成29年度から市単独事業として、毎年1台ずつ専門業者に委託して実測調査を実施している。調査の成果は山車の管理、保存修理等の資料とする。
令和4年度は、新宿・下新町区の山車を対象とした。また、実測データの一部を市のホームページ経由で公開している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	25町内の山車があるが、現状では年度内で実施できる台数に限りがある。 実測データの公開にあたっては、各町内の意向を確認する必要がある。

状況を示す写真や資料等

下新町区の山車

山車実測調査風景

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑩山車蔵調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手

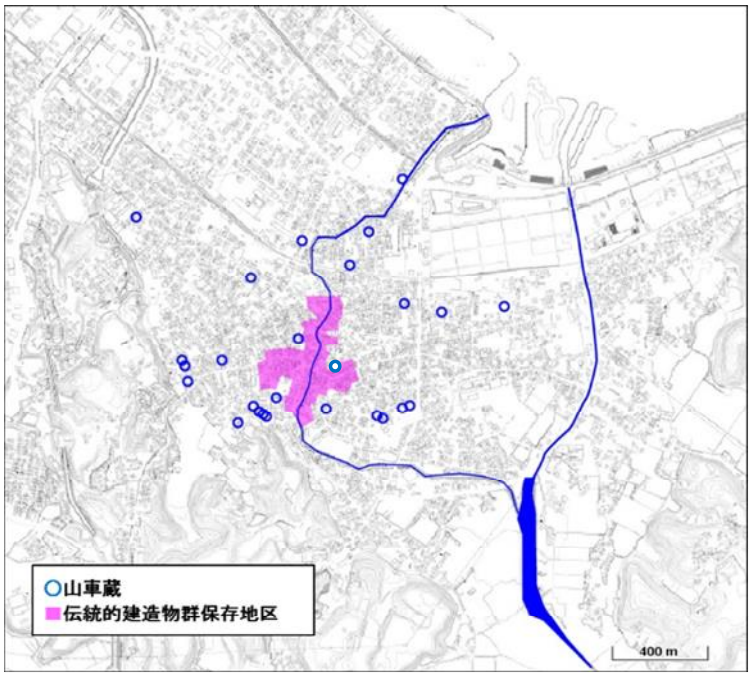
事業期間	平成29年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐原の山車行事において曳き回される山車を収蔵する蔵の調査を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

各町内で所有する山車の保管施設である山車蔵について、今後の整備や防災対策等を検討する資料とするため現況を順次調査している。令和4年度は毀損した山車蔵の現況確認等を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



山車蔵の位置（佐原地区・重点区域内）

山車蔵

山車蔵

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑪指定無形民俗文化財保存育成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成15年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐原山車行事伝承保存会への補助・助言を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

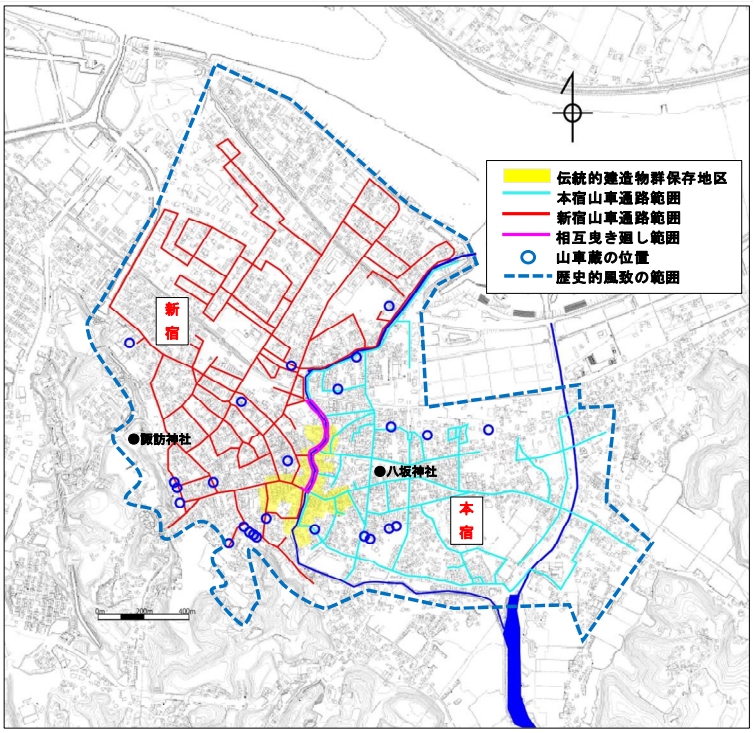
重要無形民俗文化財「佐原の山車行事」の保存団体である佐原山車行事伝承保存会の活動補助を行うとともに、その運営等について助言を行った。保存会は山車持ち町内（本宿10町内、新宿15町内）などで構成される統括団体で、年1回の総会や役員会のほか、全国山鉾屋台保存連合会総会に参加するなどの活動をしている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	平成15年度から継続的に事業を実施している。

状況を示す写真や資料等

本宿祇園祭礼（7月中旬）

新宿諏訪大祭（10月中旬）



祭礼の実施範囲及び
佐原の町並みと山車行事に見る歴史的風致の範囲

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑫小見川の町並み調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手

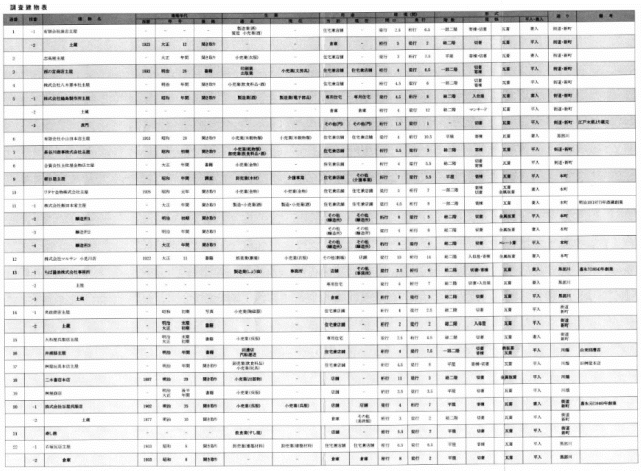
事業期間	平成30年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小見川の町並みや、毎年7月第三週頃金土日に行われる小見川祇園祭の調査を行い、資料としてまとめる。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

小見川地区には、歴史的建造物が多数所在しているものの、これまで専門的な調査が充分に行われてない。このため、資料調査等も含めて歴史的建造物の調査、祇園祭礼の記録保存調査を継続的に実施する。
令和2年度は歴史的建造物分布調査で141棟を確認した。令和3年度は、そのうち33棟について歴史的建造物基礎調査を実施した。令和4年度は過年度に作成された調査資料の整理を行い、令和4年12月に認定された香取市文化財保存活用地域計画に反映した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	事務局による現状確認調査に加えて、専門調査員による継続的調査が必要となる。

状況を示す写真や資料等



令和３年度調査対象建造物一覧

台帳番号	1－1
建物名称	有限会社油忠主屋
所在地	小見川３５４
所有者又は管理者	高橋正典

建物種別（用途）	住宅兼店舗
建築年代	大正年間(大正に１２年築と伝えられる蔵と屋根瓦が同類)
規模・形式	一部二階建(当初は平屋建で、後年２階部分を増築) １階　寄棟造　妻入　瓦葺　下屋付 ２階　正面寄棟造、背面切妻造　瓦葺 間口（梁行）２間半　奥行（桁行）６間半
前面通り名称	銚子街道より入り、正福寺に至る小路
生業	製造業(酒)　質屋　小売業(酒)　現在は廃業
特長	・２階部分は後年の増築であり、当初は建ちの低い平屋で、下屋を廻していたものと推測される。 ・通りに面した正面部分を店舗とし、続く奥部分を住まいとした例である。 ・１階下屋底の瓦は無釉瓦で、葺足が狭く、後方にある土蔵の屋根瓦と同時期のものと推測される。
保存状態	・全体の保存状態は、比較的良好である。 ・屋根漆喰の一部が剥落している。 ・外壁に亀裂が見られる。
その他	

調査表及び台帳

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑬写真・映像資料調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	香取市で行われる各種神楽の撮影等を行い、記録・保存を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

市指定無形民俗文化財の神楽10件のほか各種祭礼行事等について、写真撮影や状況確認を随時実施している。
令和4年度から再開した団体もあり、祭礼の写真撮影や実施状況の確認等を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	保存会等は毎年会長が変わるところもあり、やり取りをスムーズに行えるよう連絡を密にしたい。

状況を示す写真や資料等

市内の主な神楽

山倉大神白川流十二座神楽

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑭香取市里神楽事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年から令和4年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	香取市内の各種神楽の公演会を行い、各団体の活性化と交流を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

香取市伝承芸能保存連絡協議会への補助及び事業協力等を行った。講演会の開催と過去講演のDVDの作成を毎年交互に実施しており、令和4年度は講演会を行った。
令和4年度は例年であればDVDの作成を実施する年度であったが、新型コロナウイルスの影響により令和3年度に中止となっていた講演会を開催した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和4年度里神楽演舞会
（下小野の神楽）

令和4年度里神楽演舞会
（木内神楽保存会）

里神楽演舞会チラシ（令和4年度）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑮国宝修理事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度～令和10年度
支援事業名	美術工芸品保存修理事業補助金、県文化財保存整備事業補助金、市単独事業
計画に記載している内容	国宝・伊能忠敬関係資料について、修理計画に基づき資料の修理を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

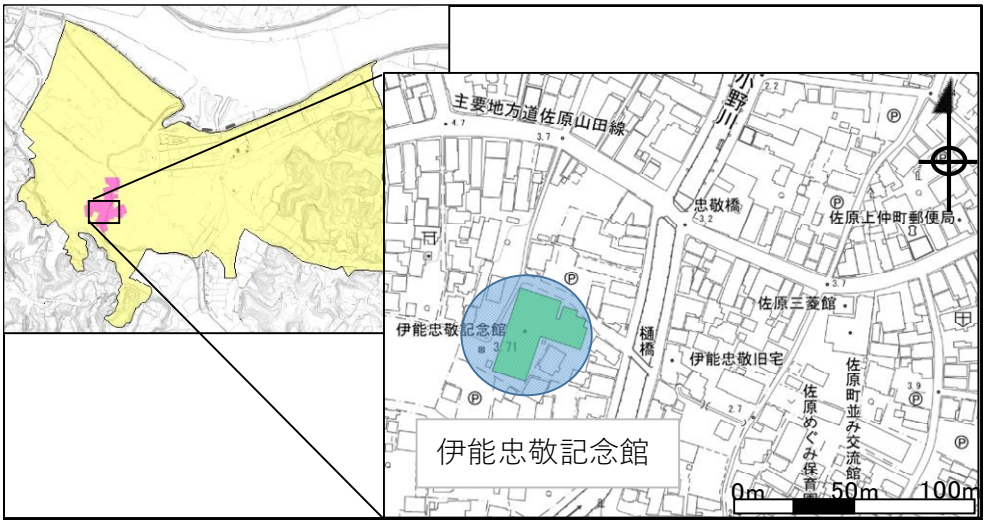
伊能忠敬記念館に収蔵されている国宝「伊能忠敬関係資料」（2,345点）のうち、地図資料を毎年1～2点ずつ計画的に修理している。修理は補助事業とし、文化庁、県担当、修理業者等と綿密に打ち合わせを重ねて実施している。
令和4年度は「地図・絵図類7　東海道歴紀州及中国至越前沿海図（下）　掛幅装　紙本著色　1幅」 1点の修理を実施した。各年度の修理内容は市HPで公開している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	・修理により装幀が変わる場合があるため、今後の保管方法等も検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

修理対象資料（修理前）

修理対象資料（修理後）



進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑯文化財看板設置・修理事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成18年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市内の指定文化財等の標柱や説明板の設置・修理を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

老朽化した文化財標柱・説明板の修理や新規設置について、文化財所有者の要望等も踏まえ随時更新・作成している。
令和4年度は計7所の文化財説明板の修繕等を行った。

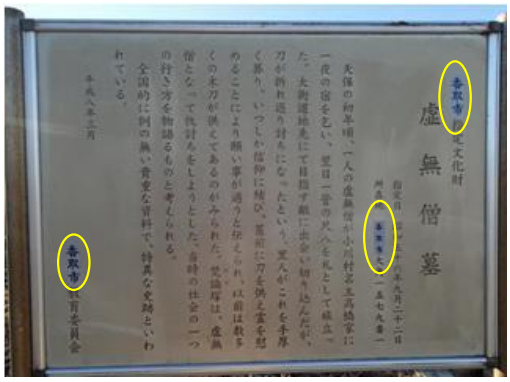
進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	・新規に所有者等が設置を要望する場合は、市補助金にて対応。 ・既存の市設置説明板等については、市事業として順次修理をする。

状況を示す写真や資料等

県・市指定文化財の既存説明板修繕
（県・山倉の鮭祭り、市・山倉大神本殿）

市指定文化財の既存説明板修繕
（市・安産大神）

新規県指定文化財の既存標柱　名称変更
（市・神徳館表門→県・香取神宮勅使門）



市指定文化財の旧市町表記（山田町→香取市）修正
虛無僧墓ほか計４ヶ所で修正実施

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑰佐原・香取学習パンフレット、ガイドマップ配布事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和4年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	主に校外学習で香取市を訪れる県内小学校の生徒を対象に、香取市に関する冊子を配布する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

児童用のガイドマップ、引率教員用のパンフレットを作成。平成29年度から要望により無償配布している。
【平成29年度～令和4年度集計】
件数328件、ガイドマップ27,578冊、パンフレット2,416冊配布済み
令和4年度はガイドマップ8,000部増刷・改訂を実施

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	増刷時に適宜内容等の修正を行う。

状況を示す写真や資料等

学習ガイドマップ・パンフレット配布記録

年度	件数	学校	小学校	中学校	学校以外	市内（小学校）	ガイドマップ	パンフレット
平成29年度	63	58	58	0	5	1	5,186	389
平成30年度	62	55	55	0	7	2	5,013	688
令和元年度	74	71	71	0	3	2	7,241	527
令和２年度	39	39	30	9	0	0	2,973	240
令和３年度	90	90	83	7	0	2	7,165	572
令和４年度	72	70	67	3	1	1	6,089	461
計	400	383	364	19	16	8	33,667	2,877

ガイドマップ　表紙

ガイドマップ　地図面

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑱香取市文化財地図作成・発信事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	香取市内の文化財地図を作成し、配布・公開していく。

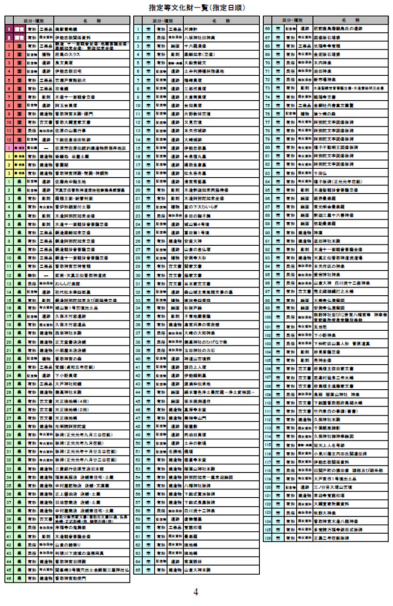
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

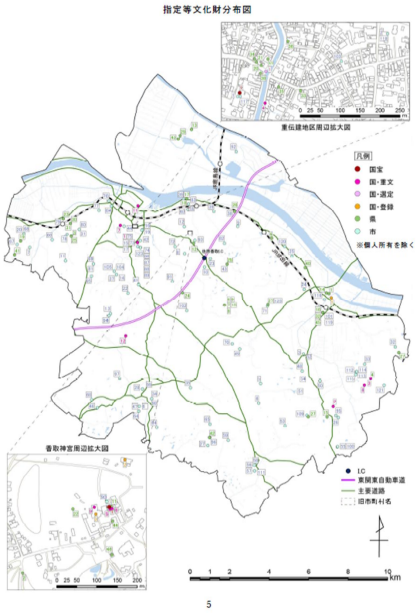
今後文化財マップを作成するため、指定文化財の調査を随時実施し情報を更新する。
令和4年度は香取市文化財保存活用地域計画や概要版で文化財一覧を掲載することができた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	指定等文化財の新規指定等があった場合には修正が必要となる。

状況を示す写真や資料等

香取市文化財保存活用地域計画
概要版表紙





香取市文化財保存活用地域計画
概要版掲載の文化財一覧

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑲いぶき市民カレッジ事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成26年度～令和4年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	いぶき市民カレッジにおいて講演や現地見学を行い、市民の文化財へ対する認識向上を図る。

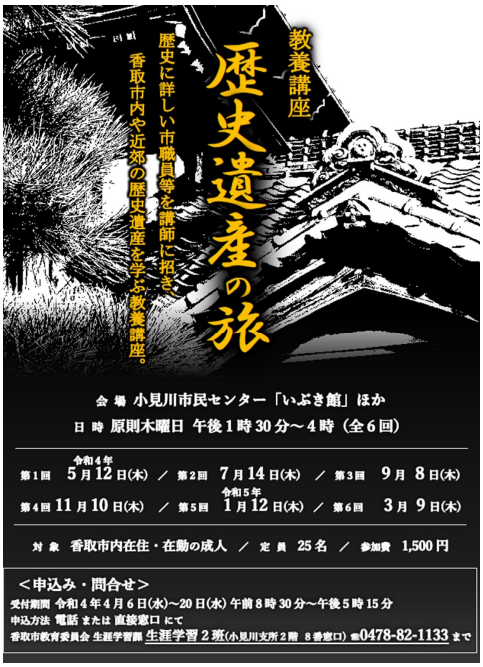
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

生涯学習課で実施する「いぶき市民カレッジ・歴史遺産コース」（年間7講座）を実施した。
（市内の地形、市内の国指定文化財、市内の遺跡など）
令和4年度は新型コロナウイルス感染対策に十分注意して少人数で実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	一般の方が集まるため新型コロナウイルス感染対策や安全性を確保したうえで行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

令和４年度いぶき市民カレッジ・歴史遺産の旅　講座チラシ



第１回「利根川下流域の水郷観光について
講座の様子

第３回「佐原三菱館の保存と修理について」
講座の様子

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
⑳日本遺産活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成28年度～令和7年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	各種事業を行うことで、日本遺産「北総四都市江戸紀行」による地域活性化と認識向上を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

北総四都市江戸紀行は平成28年度に佐倉市、成田市、香取市、銚子市及び千葉県で認定を受けたもの。
活動については、「北総四都市江戸紀行活用協議会」を組織し、県事務局を中心に4市の協議で実施している。また、各市単位での活動も実施しており、各種イベントでのPRを進めている。
令和4年度は日本遺産サミットや各市イベントでのPR活動、校外学習誘致、観光商談会への参加、認定地評価に向けた対応を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	協議会活動に係る財源確保が大きな課題。また、市内部では地元団体への周知と協力を今後広げることが課題となる。

状況を示す写真や資料等

成田伝統芸能祭り
（成田市　R4.9.17-18）

日本遺産フェスティバル
（下関市　R4.10.25-27）

ふるさとフェスタさわら
（香取市内　R4.11.27）

江戸優り佐原文化芸術祭PRブース
（香取市内　R2.11）

香取市　日本遺産ＰＲチラシ

校外学習でパンフレットを読み込む生徒
（伊能忠敬記念館裏　事業17に関連）

進捗評価シート　　（様式1-4）

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財調査、指定、文化財保存活用地域計画の作成	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	未指定の文化財に対する調査を行い、適宜文化財の指定等の検討や適切な保存と活用等を行う。また、保存活用地域計画の策定を行うことで未指定文化財も含めた適切な保存・活用を明確にしていく。

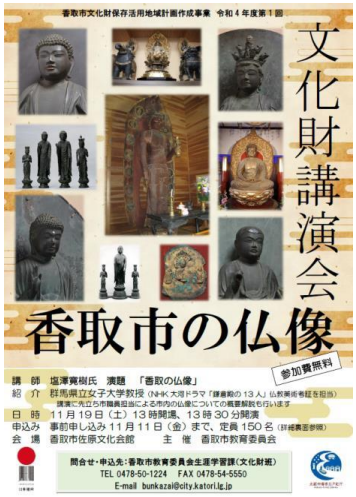
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は県指定文化財の追加指定・名称変更（香取神宮勅使門　附　棟札三枚）が行われた。また、県文化財審議委員による県指定文化財の調査や、市指定文化財の新規指定に向けた調査等を実施した。
また、香取市文化財保存活用地域計画作成事業を令和2年度～4年度にかけて実施しており、文化庁との協議・法廷協議会の開催を通じて計画内容の検討を進め、令和4年12月16日に文化庁長官より計画の認定を受けた。また、計画作成の一環として、文化財講演会を2回（香取市の仏像、香取市の国宝）を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市指定文化財の指定や現状変更等にあたっては香取市文化財保護審議会で協議等を行う必要がある。香取市文化財保存活用地域計画は令和4年12月16日に認定され、今後の文化財の適切な保存と活用等に繋げる必要がある。

状況を示す写真や資料等

追加指定・名称変更　県指定文化財
（香取神宮勅使門　附　棟札三枚）



令和４年度第１回文化財講演会
香取市の仏像

令和４年度第１回
香取市文化財保存活用地域計画協議会

文化財保存状況調査（観福寺）

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財の保存・活用（史跡等の管理）	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	香取市には190件の指定文化財等が所在しており、文化財保護法、県・市条例などに基づき、適切な保存や管理等の措置を講じていく。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

国・市指定史跡の適正管理のため、地元地区、保存会に雑草除去業務を委託した。また、国・天然記念物の生育状況管理のため専門業者に保護管理業務を委託した。令和4年度は国史跡・下総佐倉油田牧跡の一部公有地化を進めた。
【雑草除去業務】国史跡・良文貝塚、国史跡・阿玉台貝塚、市史跡・大塚山古墳
【保護管理業務】国天然記念物・府馬の大クス

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	雑草除去については、夏期を中心とした委託であるため、それ以外の時期は地元地区等が自発的に実施している。

状況を示す写真や資料等

国・良文貝塚（除草作業）

国・阿玉台貝塚（除草作業）

市・大塚山古墳（除草作業）

国・府馬の大クス（薬剤散布）

国・府馬の大クス（土壌調査）

進捗評価シート　　（様式1-4）

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財情報の発信と防災の啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	市内に所在する文化財について、普及・啓発に関わる取り組みを推進することで、文化財の周知を図るとともに保存活用につなげていく。市民の防災意識と文化財愛護精神の維持向上を図るため広報活動や防火訓練を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

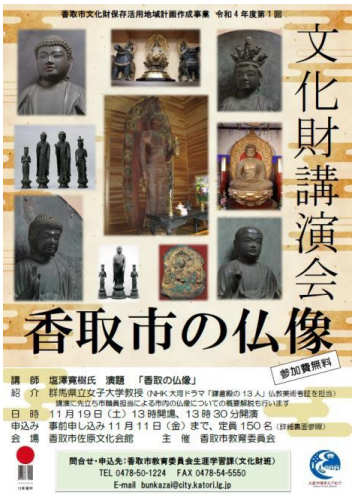
文化財の情報発信については、市広報誌に毎号「香取遺産」を連載するとともに、市ホームページで文化財関連情報を随時発信、更新している。
令和4年度は各地の防災訓練は中止となったが、文化財防火デーを中心に、文化財防災の啓発を行っている。また、指定文化財建造物について消防署による防火設備の確認・指導が行われたため、消防署と協議の上で対応を行った。
このほか、文化財保存活用地域計画策定事業の一環として文化財講演会を2回実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後も情報発信や防災啓発について、継続的に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

市ホームページでの情報発信

市広報誌連載「香取遺産」



令和４年度第１回文化財講演会チラシ
（香取市の仏像）

R5.3.4　令和４年度第２回文化財講演会風景
（香取神宮　神徳館）

進捗評価シート　　（様式1-5）

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

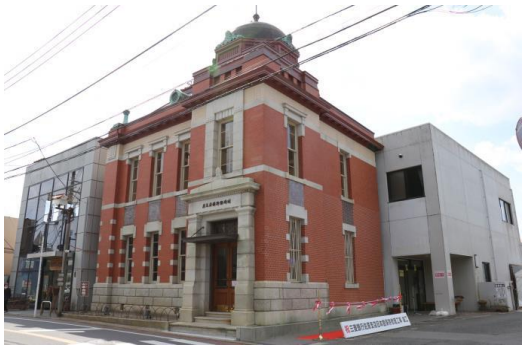
	評価対象年度	令和4年度
タイトル	**日時**	**媒体**
御田植祭で豊作祈る　香取神宮小中学生が田舞披露	令和4年4月4日	千葉日報
「復興、観光のシンボルに」　東日本大震災で被災の佐原三菱館、9日から一般公開	令和4年4月4日	千葉日報
佐原三菱館の修復完了　建築当時の姿に　９日から一般公開	令和4年4月7日	讀賣新聞
震災で被災の文化財「三菱館」、11年ぶり往時の姿再現　千葉	令和4年4月8日	毎日新聞
３０年ぶり「半間」新調　香取　佐原大祭上宿区の山車　木材で組み上げ　ＧＷ引き回し披露	令和4年5月10日	千葉日報
チュウケイさん暮らした町へ　映画「大河への道」ロケ地・佐原ルポ　旧宅や記念館巡る	令和4年6月4日	千葉日報
佐原の大祭夏祭り３年ぶり開幕　勇壮な山車、江戸情緒残る町並み練り歩く	令和4年7月15日	千葉日報
地産チーズとビールで観光客の滞在促す、千葉・香取市	令和4年7月19日	日本経済新聞
デジタル地図　佐原観光便利に　香取・地元店支援、回遊性向上も	令和4年9月16日	千葉日報
“限定復活”屋台巡行　町に活気、夜空彩る花火も　香取・小見川地区　【地方発ワイド】	令和4年10月4日	千葉日報
「最古の薬局」歴史たどる　香取・佐原で資料展　江戸～戦前　伊藤博文筆の屋号も	令和4年10月7日	千葉日報
秋雨に「わっしょい」響く　あすまで「佐原の大祭」　／千葉	令和4年10月8日	毎日新聞
小江戸の町並み巡る　香取でモニターツアー　滞在時間延長、観光客誘致へ	令和4年11月12日	千葉日報
土蔵で伝統芸能堪能　舞踊家らパフォーマンス　香取・佐原文化芸術祭	令和4年11月21日	千葉日報
香取神宮、厳かに大饗祭　カモやサケ供え感謝	令和4年12月2日	千葉日報
災い「サケる」鮭奉納　香取・山倉大神３年ぶり例祭	令和4年12月5日	千葉日報
忠敬橋の歩道拡幅へ　下流側先行着手、６月末完成予定　千葉県香取土木事務所	令和4年12月15日	千葉日報
香取神宮で本殿塗替　文化財保存活用地域計画　香取市	令和4年12月17日	日刊建設新聞
「文化財保存活用地域計画」　鎌ヶ谷市、香取市を具申	令和4年12月19日	毎日新聞
香取市「コンパス」オープン　佐原駅近く賑わい交流拠点　図書館や公民館、ホールも	令和4年12月26日	千葉日報
香取の複合施設開館　愛称は「コンパス」　交流の拠点に　／千葉	令和5年1月4日	毎日新聞
ひげをなで「酒もう一杯」　香取・側高神社　伝統の奇祭、豊作祈願	令和5年1月10日	千葉日報
香取の魅力、タイに発信　観光地のにぎわい復活へ　【私論直言】	令和5年1月16日	千葉日報
歴史探偵「伊能忠敬の日本地図」	令和5年1月25日	NHK
明鏡止水～武のKAMIWAZA～　「壱の巻　香取神道流」	令和5年1月25日	NHK
２０年ぶり演目観客魅了　香取市里神楽演舞会　コロナ収束願い込め	令和5年2月1日	千葉日報
県建築文化賞が決定　17日に県庁で表彰式（入賞：三菱銀行佐原支店旧本館）	令和5年3月11日	日刊建設新聞

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

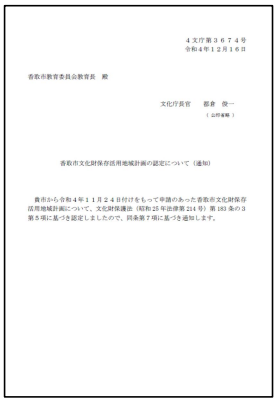
香取市歴史的風致維持向上計画の重点区域内の文化財などが多数紹介されたことで、本市の歴史的風致の魅力について理解と関心が広まった。令和4年度は三菱銀行佐原支店旧本館の公開開始、映画「大河への道」、香取市文化財保存活用地域計画認定、複合公共施設「コンパス」オープンのほか、祭礼・行事の再開など多くの動きがあった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



千葉日報　令和4年4月4日関連
讀賣新聞　令和4年4月7日関連　ほか
三菱銀行佐原支店旧本館　保存修理工事竣工



４文庁第３６７４号
令和４年１２月１６日

香取市教育委員会教育長　殿

文化庁長官　都倉　俊一
（　公印省略　）

香取市文化財保存活用地域計画の認定について（通知）

貴市から令和４年１１月２４日付けをもって申請のあった香取市文化財保存活用地域計画について、文化財保護法（昭和25年法律第214号）第183条の3第5項に基づき認定しましたので、同条第7項に基づき通知します。

日刊建設新聞　令和4年12月17日関連
毎日新聞　令和4年12月19日関連

評価軸⑥-1
その他（効果等）

評価対象年度	令和4年度

項目

歴史的風致の周知と認識向上

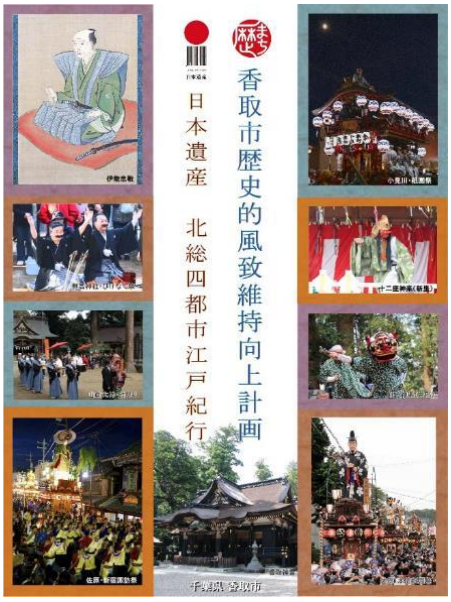
計画に記載している内容	平成30年3月策定の第二次香取市総合計画では、まちづくりの将来都市像に「豊かな暮らしを育む　歴史文化・自然の郷　香取」を掲げている。その実現に向け、香取市に伝わる歴史的建造物と人々の活動が一体となった歴史的風致を中心に、必要な取り組みを推進するものである。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

●香取市歴史的風致維持向上計画認定記念のクリアファイル配布
　年度内2回の文化財講演会を開催した際、クリアファイルの配布と説明を行うなどの周知を行った。
●歴まちカードを市内2カ所の観光・文化施設で配布した。
　令和4年度配布数：480枚　のべ配布数：5,600枚

歴史的風致の周知と認識向上	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし	日本遺産のPR事業と連携して、歴まち計画についても周知を図っている。 令和5年度より歴まちカードの配布が全国展開されるので更にPRを進めたい。

状況を示す写真や資料等



認定記念グッズ（クリアファイル）

香取市　歴まちカード

法定協議会等におけるコメント

（様式2）

評価対象年度	令和4年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：香取市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時：令和5年5月

（コメントの概要）

①組織体制（様式１－１）

・生涯学習課文化財班を軸とした運営体制では過重な負担が係るとみこまれる。他部局を統合して独立させた組織（たとえば歴まち課）を創設すれば、歴まち事業を対外的にまた市民向けに政策アッピールする観点からも有効と考える。

②重点区域内における良好な景観を形成する施策（様式１－２）

・現状は比較的良好な状態と思われる。今後さらに景観を維持向上させていくには、景観に影響を与える行為への迅速な対応、地域との協力関係が一層大切になる。

・特に重伝建地域内の屋外広告物は問題があるのではないか。

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式１－３）

・三菱館については、創建当時の様相も復元できてよかった。保存修理工事報告書が刊行され、後世に伝える貴重な資料ができた。今後、同館の公開と有効活用がさらに進み、重要文化財指定に向けた機運が高まることを期待したい。

・香取市佐原伝統的建造物群保存整備事業については、長期的な修理計画が必要な建造物があるので、所有者と綿密に協議して事業を円滑に進めていただきたい。建造物所有者の高齢化に伴い、今後どのように修理事業を進めていくか、次世代の所有者とも課題の共有を図ることが重要。

・さわらぼについて、空き家・空き店舗の活用が再びできるとよい。

・歴史的建造物の活用促進には、広く一般的なPRから対象を特化させて、例えば小江戸三市で川越、栃木の街なみとの違いや、全国に多くある歴まちの中での佐原の街なみの個性、特色など、より専門的に佐原への興味、関心を喚起する情報を発信し、応答を受ける枠組みが必要と考える。

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式１－４）

・近来改築や代替わりなどで、古文書などの歴史史料も少なからず発見されてきている。これらの調査・保存の手当がなされるべきであろう。また、歴史資料の調査研究を踏まえて観光資源として発信する機能の推進が望まれる。

・無形民俗文化財等はコロナがきっかけで行事が休止してしまったり、実施形態が変化したりと、コロナ前と同じ形態で継続していくのが困難な場合がある。保存会等と協議し、優先順位を定めて事業を確実に実施していただきたい。

⑤効果・影響等に関する報道（様式１－５）

・橘堰は今回の修理工事で、稲作農業に伴って形成されてきた文化的景観が、自然景観とよく調和する形で整備が進んだ。その良好な景観が保持された点を含め、広く市民の理解が進み、文化財への理解が深まることも期待したい。

⑥その他（効果等）

・佐原の「町ぐるみ博物館」事業は、住民の自覚的意識を高める上で有効だが、さらに各町家が町並み全体に位置づけられ、佐原の町並みの特質が包括的に発信できる機能の充実を期待していきたい。

・佐倉市を訪れた際、案内看板のほとんどに「日本遺産」の記載があり、アピール感がよかった。

（今後の対応方針）

・歴史まちづくりと、文化財の保護活用に関連しては、これからも大小様々な問題があらわれてくると予想される。協議会がさらに有効に機能し対処していければと思う。

・歴史を町おこしの基軸として生き伸びようとする香取市にあって、継続的な調査に基づいた成果を総合的に長期的に発信し続ける部門が必須である。若い世代へ佐原の町の伝統と歴史を継承するためにも、また観光資源としても、町の歴史を展示する施設や、その発信の基盤となる学芸的な部門をもつ地域歴史資料館の設置が必要である。